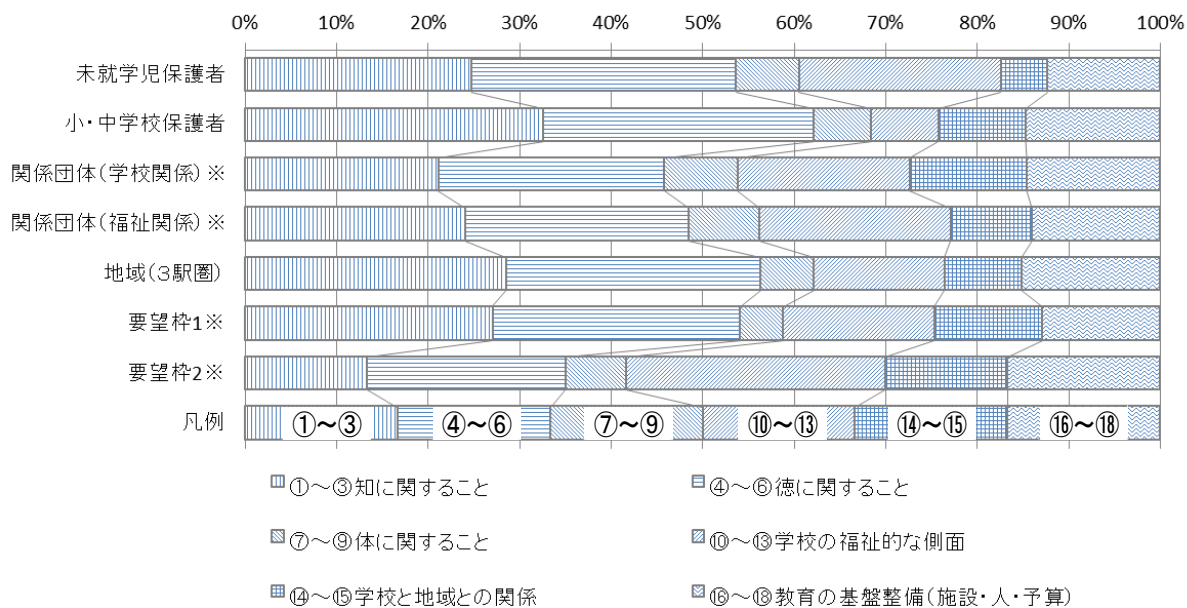


3 アンケート結果

3 アンケート結果

(1)市民

Q1 次のうち、これからの学校にとって重要だと思うものを5つお答えください。



※ 4 ページ参照

Q 1 選択肢

知に関する こと	① 発展的な学習による学力の向上 ② 基礎的・基本的な学習内容を身に付け、学習の遅れやつまづきをなくすこと ③ 学習への興味・関心の育成
徳に関する こと	④ 他者への思いやりなどを育むこと ⑤ 他者との協働のための社会性の育成 ⑥ 主体性の育成
体に関する こと	⑦ 健康な生活習慣の確立 ⑧ 技術的、体力的な運動能力の向上 ⑨ 運動習慣の確立
学校の 福祉的な 側面	⑩ 9年間を通した、放課後の子どもの居場所づくり ⑪ 一人一人の特性に応じた、子どもの自立をめざす特別支援教育 ⑫ 様々な課題や背景のある子どもや家庭に対する、専門スタッフによる支援・相談が可能な体制 ⑬ 学校で子どもが相談をしやすい体制
学校と地域 との関係	⑭ 保護者や地域の方々にとって持続可能な学校と地域の協働体制 ⑮ 学校と地域が連携した子どもの支援
教育の 基盤整備	⑯ 教育現場を支援する人材の充実 ⑰ 子どもがのびのびと過ごせる校舎や校庭などの整備 ⑱ 今後の地域の課題に対応するための、学校施設の有効活用

注: 網掛け部分は、
回答者の3分の1以上
が選択したもの。

回答者数

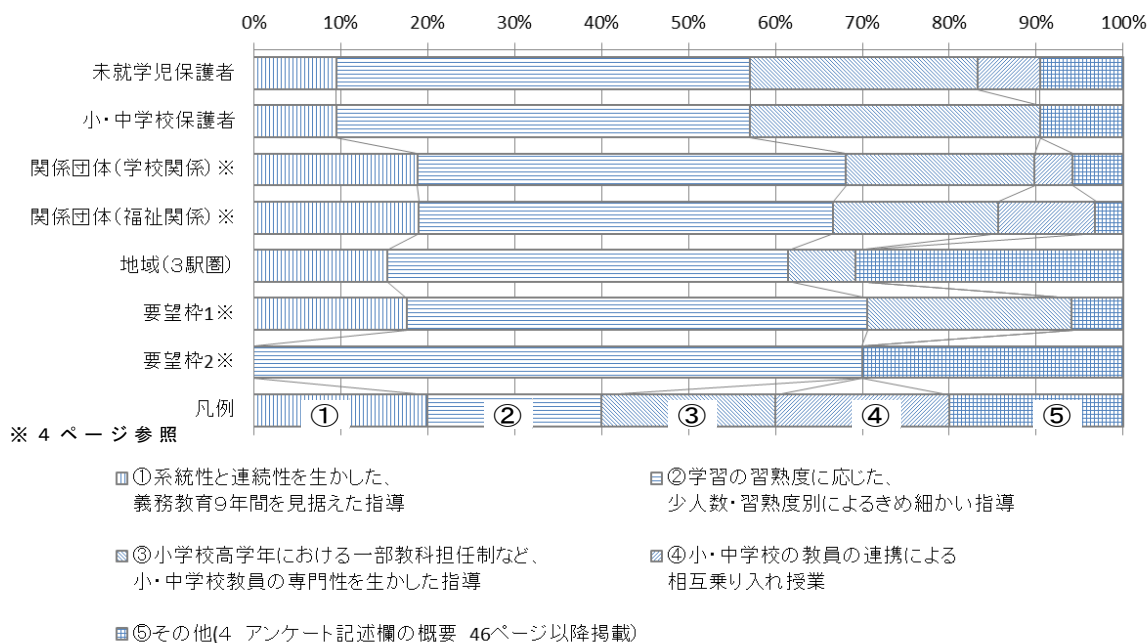
未就 学児 保護者	小・中 学生 保護者	関係 団体 (教育)	関係 団体 (福祉)	地域 (3駅 圏)	吉祥寺 東コ ミュ ニ ティ 協 議 会	武蔵野 の教育 を語る 会
43	31	71	69	28	17	18

Q1 次のうち、これからの学校にとって重要だと思うものを5つお答えください。

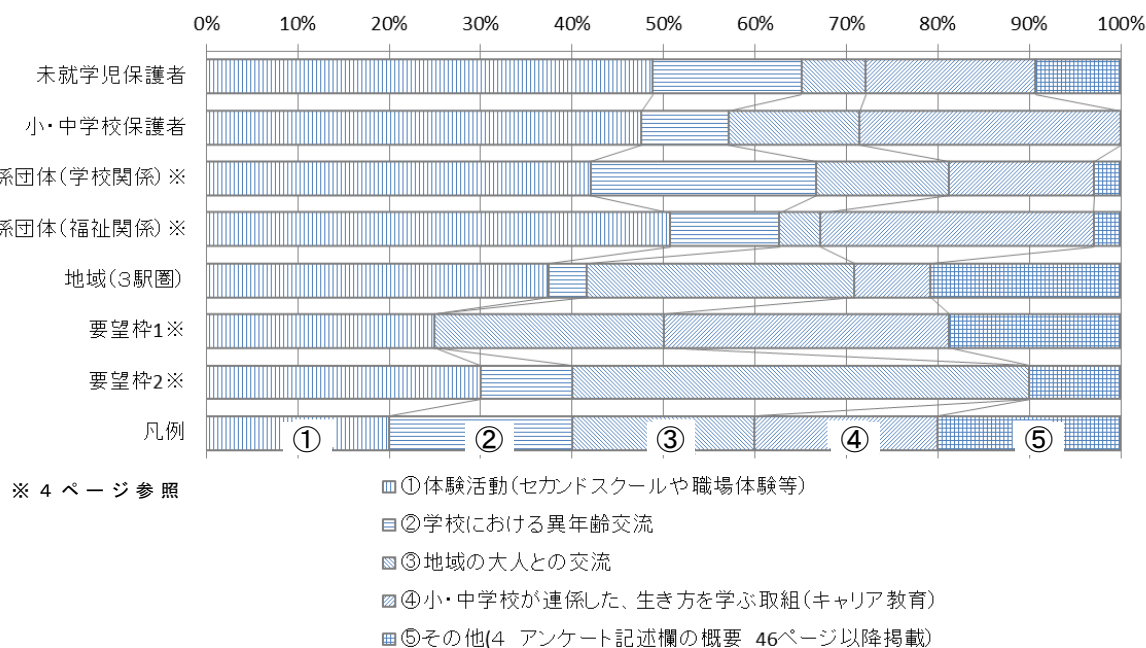
①	1	発展的な学習による学力の向上	21	6	10	17	2	4	0
	2	基礎的・基本的な学習内容を身に付け、学習の遅れやつまづきをなくすこと	17	13	36	32	16	8	3
	3	学習への興味・関心の育成	16	12	25	32	16	11	5
②	4	他者への思いやりなどを育むこと	24	7	30	29	12	5	7
	5	他者との協働のための社会性の育成	20	6	34	29	10	9	3
	6	主体性の育成	19	15	19	24	11	9	3
③	7	健康な生活習慣の確立	8	3	13	13	3	3	3
	8	技術的、体力的な運動能力の向上	5	2	7	6	2	0	0
	9	運動習慣の確立	2	1	7	7	2	1	1
④	10	9年間を通した、放課後の子どもの居場所づくり	4	5	13	14	1	0	3
	11	一人一人の特性に応じた、子どもの自立をめざす特別支援教育	16	4	17	24	6	7	6
	12	様々な課題や背景のある子供や家庭に対する、専門スタッフによる支援・相談が可能な体制	14	4	24	18	5	6	2
	13	学校で子どもが相談をしやすい体制	14	4	9	14	5	1	6
⑤	14	保護者や地域の方々にとって持続可能な学校と地域の協働体制	5	4	21	15	4	6	4
	15	学校と地域が連携した子どもの支援	6	5	22	15	6	4	4
⑥	16	教育現場を支援する人材の充実	14	4	20	15	6	4	7
	17	子どもがのびのびと過ごせる校舎や校庭などの整備	9	9	18	21	12	4	2
	18	今後の地域の課題に対応するための、学校施設の有効活用	4	1	11	11	0	3	1

3 アンケート結果 (1) 市民

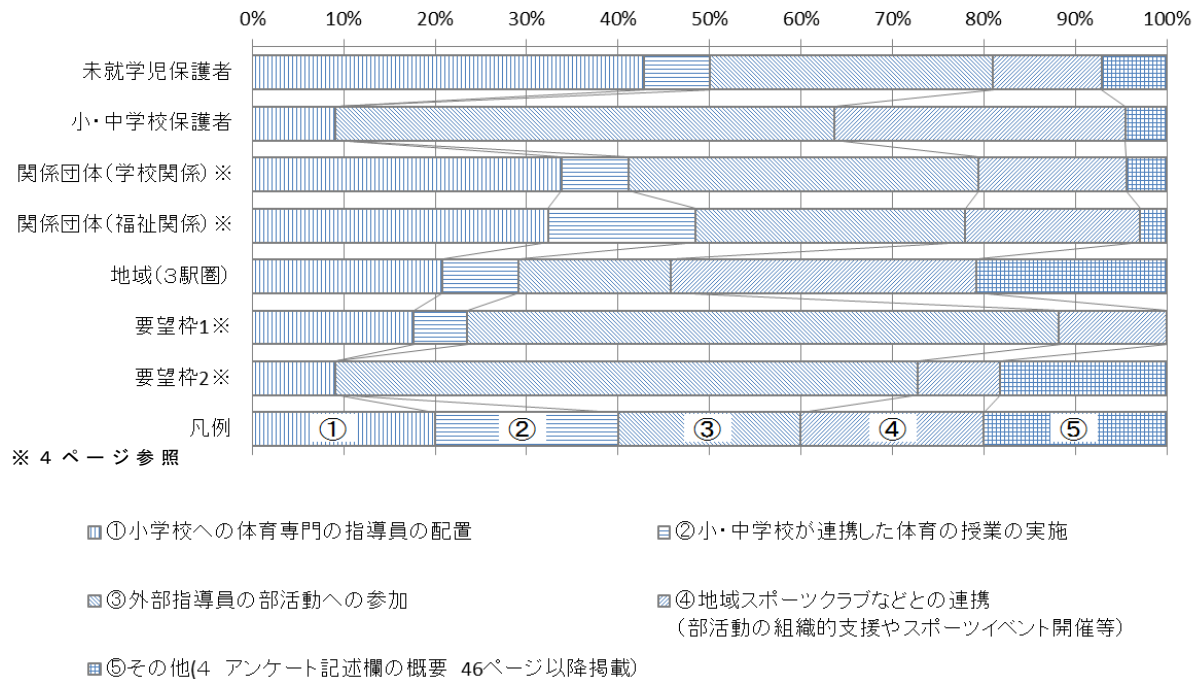
Q2 基礎・基本の定着や、自ら学び、考える力の育成を大切にし、一生涯の学びを支える学ぶ意欲を育むために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください。



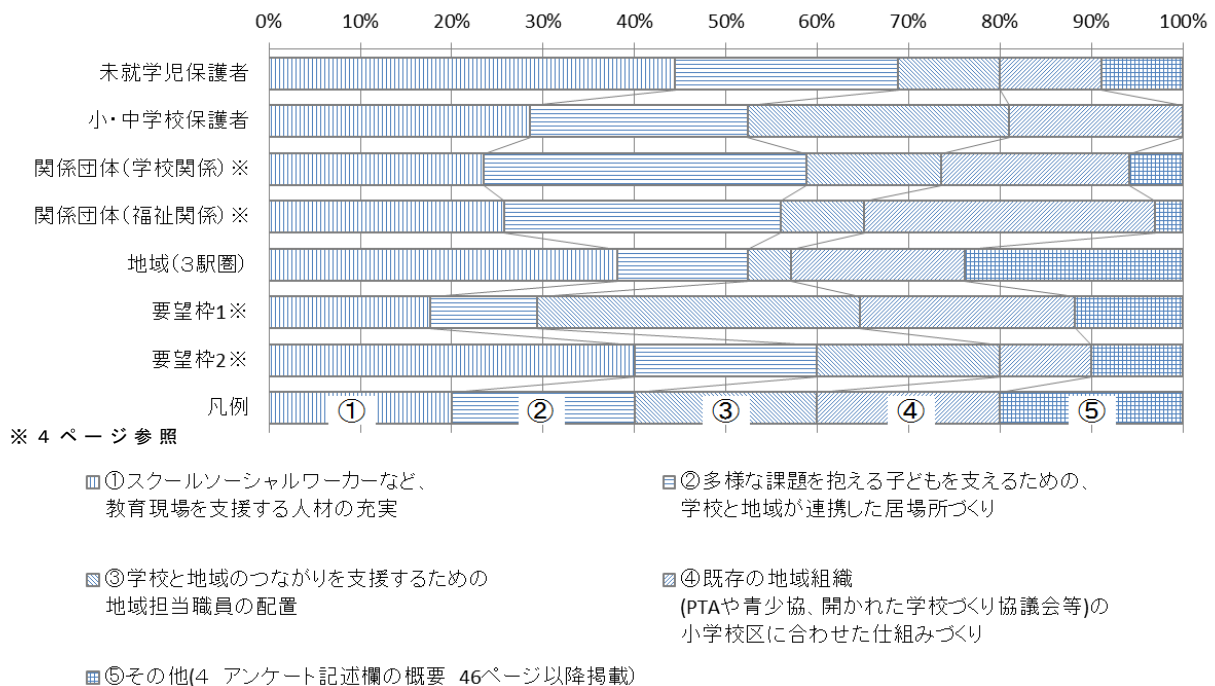
Q3 他者への思いやりや、社会の一員として意志をもって行動する力をはぐくむために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください。



Q4 生涯にわたる健康の保持増進や、運動能力を身に付け、運動習慣を確立するために、
本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください。

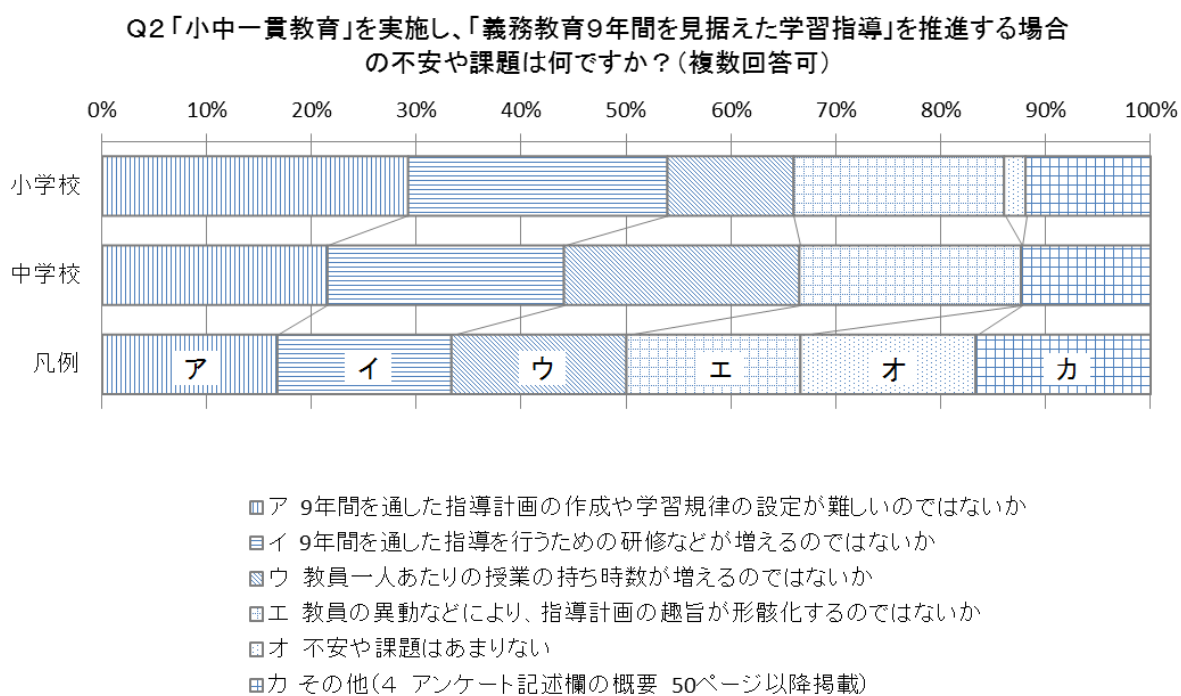
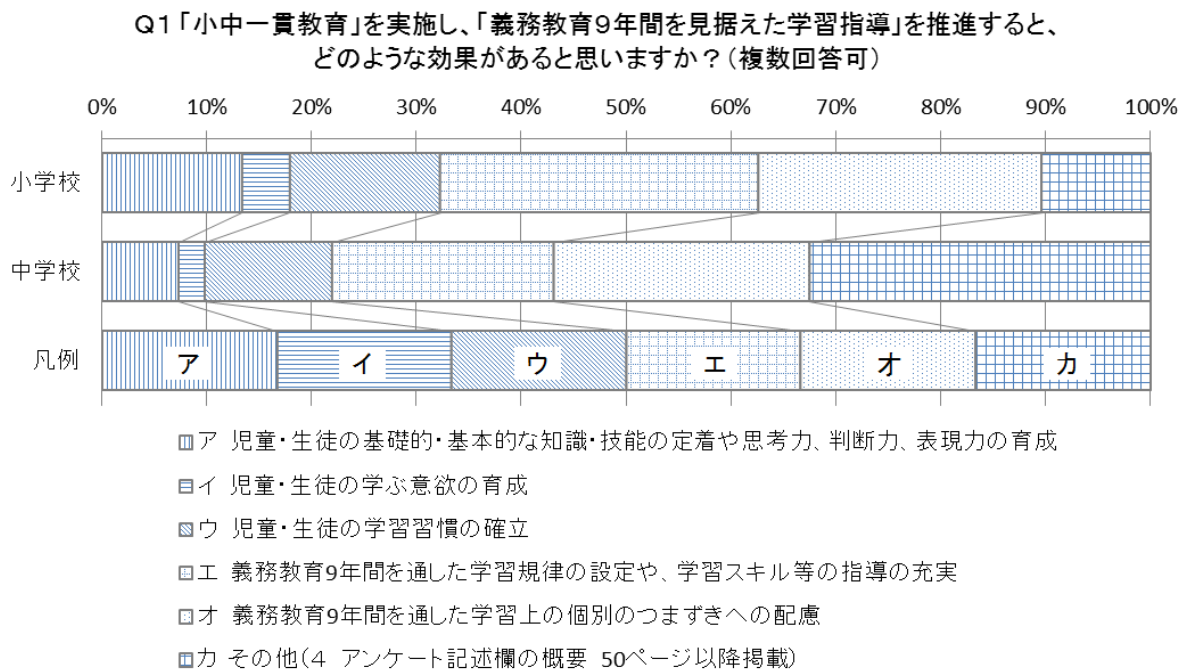


Q5 子どもや家庭、地域や教員を支援するために、
本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください。



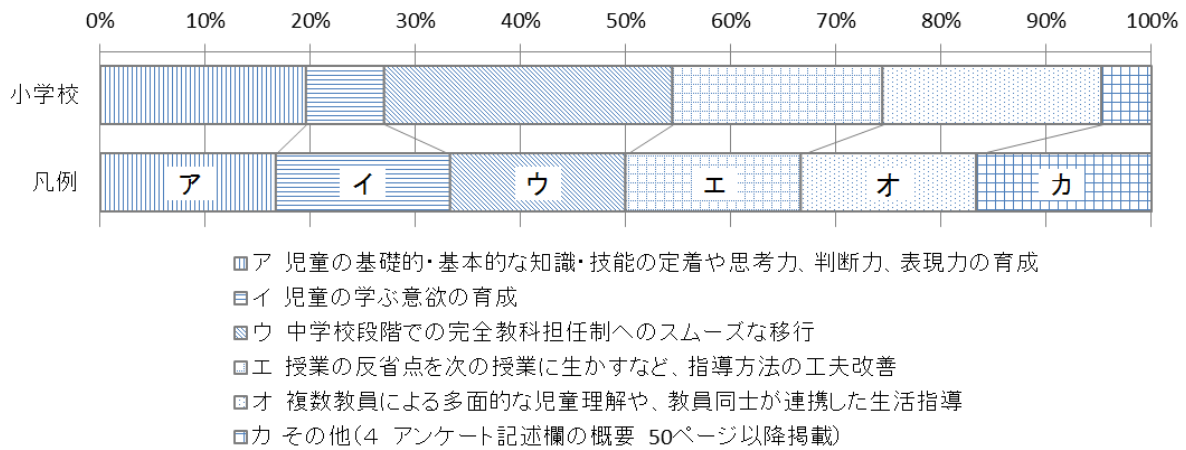
3 アンケート結果

(2)教員等



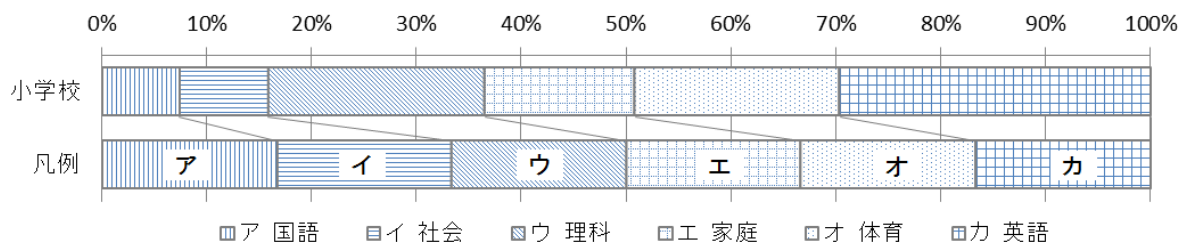
※小学校教員のみ、お答えください※

Q3「小中一貫教育」を実施し、「小学校高学年での一部教科担任制」を実施すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）



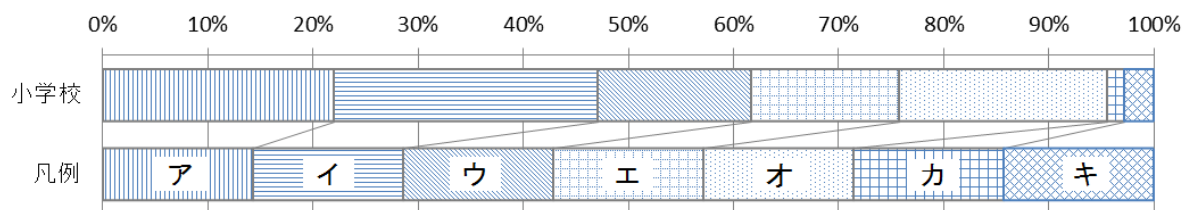
※小学校教員のみ、お答えください※

Q4 特にどの教科で実施すると、効果があると思いますか？（複数回答可）



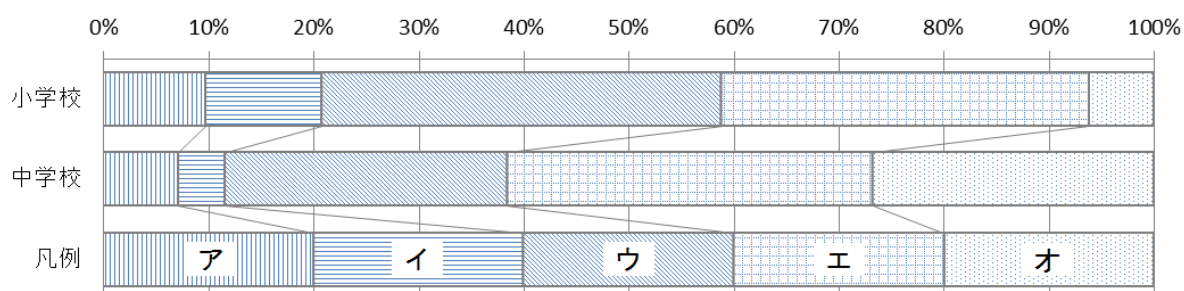
※小学校教員のみ、お答えください※

Q5「小中一貫教育」で「小学校高学年での一部教科担任制」を実施する場合、不安や課題は何ですか？（複数回答可）



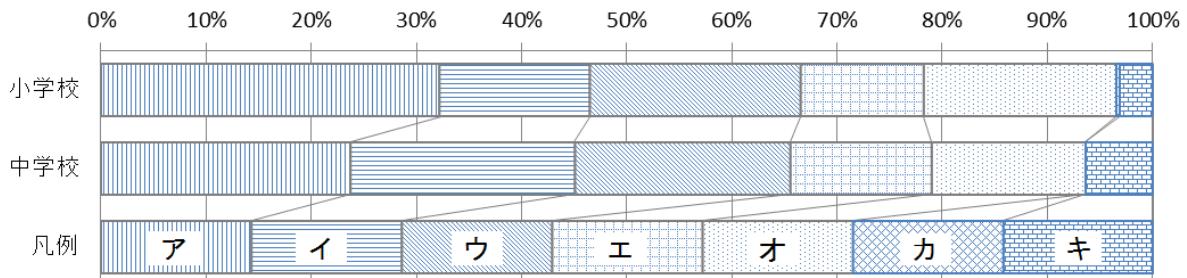
- ア 全ての教員が、自分の専門性を生かすのは難しいのではないか
- イ 固定時間割の編成が難しいのではないか
- ウ 児童の総合的な学習状況の把握や、信頼関係づくりが難しいのではないか
- エ 複数教科の内容を組み合わせた合科的な指導ができなくなるのではないか
- オ 欠席児童の連絡や、宿題の総量調整等、教科担任同士の連携が難しいのではないか
- カ 不安や課題はあまりない
- キ その他(4 アンケート記述欄の概要 50ページ以降掲載)

Q6「小中一貫教育」を実施し、「小・中学校での相互乗入授業」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）



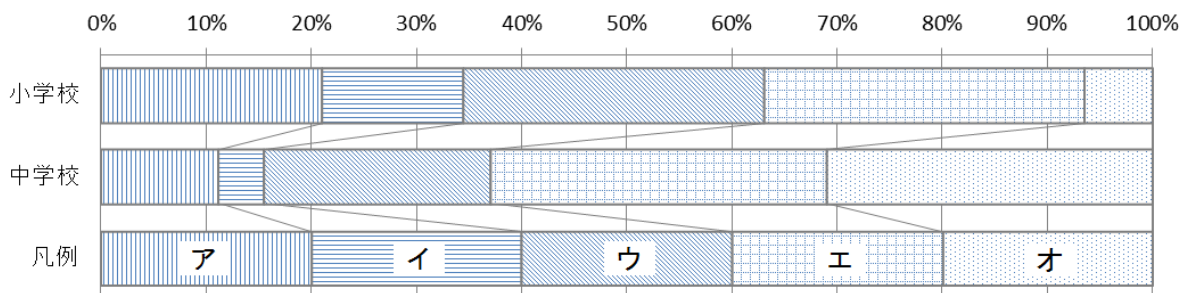
- ア 児童・生徒の基礎的・基本的な知識・技能の定着や思考力、判断力、表現力の育成
- イ 児童・生徒の学ぶ意欲の育成
- ウ 中学校進学に関する児童の不安緩和
- エ 義務教育9年間を通じた児童・生徒の成長に関する小・中学校教員の理解
- オ その他(4 アンケート記述欄の概要 50ページ以降掲載)

Q7「小中一貫教育」で「小・中学校での相互乗入授業」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）



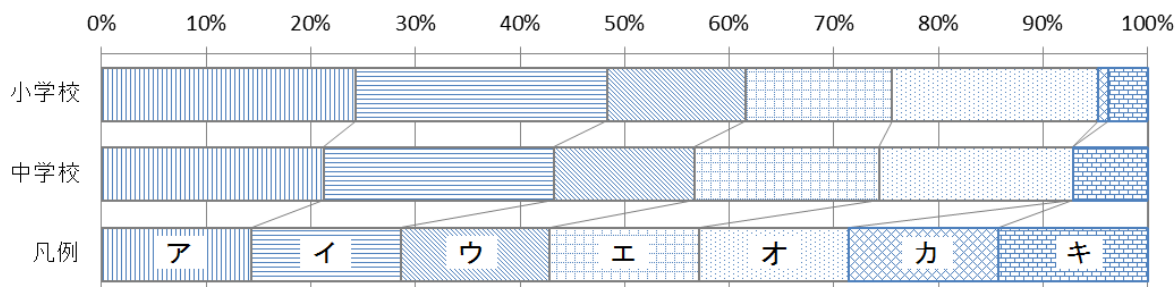
- ア 相互乗入授業を行うための打ち合わせの時間がとれないのではないか
- イ 教員一人あたりの授業の持ち時数が増えるのではないか
- ウ 小学校段階と中学校段階の授業開始時刻の調整が難しいのではないか
- エ 異なる学校段階の授業や授業支援は、教員の持ち味を生かせないのではないか
- オ 所有する免許状の多い教員のみ負担が偏るのではないか
- カ 不安や課題はあまりない
- キ その他(4 アンケート記述欄の概要 50ページ以降掲載)

Q8「小中一貫教育」を実施し、「児童・生徒の異年齢交流」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）



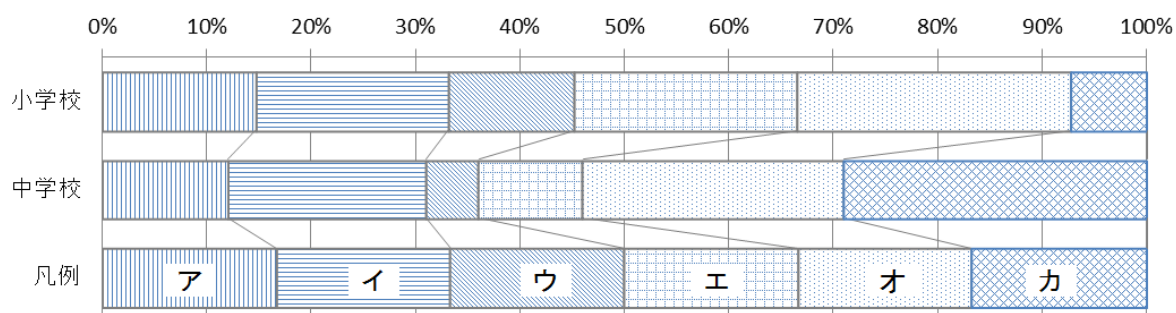
- ア 児童・生徒の自分で考え、責任もって行動する力を育むこと
- イ 児童・生徒の自己理解や、自分のよさ、可能性に気付くこと
- ウ 児童・生徒の他者と協力していこうとする態度を育むこと
- エ 児童・生徒の他者への思いやりの心を育むこと
- オ その他(4 アンケート記述欄の概要 50ページ以降掲載)

Q9「小中一貫教育」で同じ学校内で「児童・生徒の異年齢交流」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）



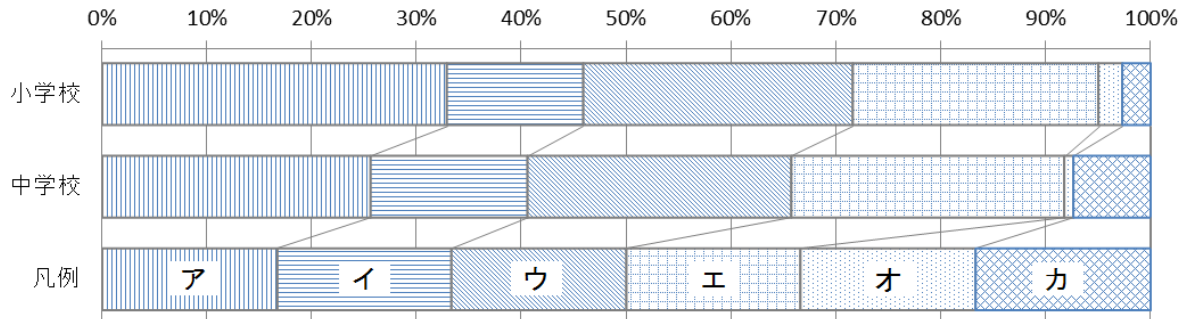
- ア 交流内容の吟味など打ち合わせの時間がとれないのではないか
- イ 実施する授業時数の確保や、時間割の調整が難しいのではないか
- ウ 上級生の負担が増えたり、下級生が上級生に頼りすぎたりするのではないか
- エ 中学生が小学生に合わせることで、中学校段階の良さがなくなるのではないか
- オ 多くの人数が一度に交流することで、安全管理が難しくなるのではないか
- カ 不安や課題はあまりない
- キ その他(4 アンケート記述欄の概要 50ページ以降掲載)

Q10「小中一貫教育」を実施し、「9年間を通したキャリア教育や進路指導」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）



- ア 児童・生徒の自己理解や、自分のよさや可能性に気付くこと
- イ 児童・生徒の他者と協力して社会に関わろうとする力の育成
- ウ 児童・生徒の課題発見、解決のための計画立案など課題対応能力の育成
- エ 児童・生徒の働くことの意義理解や、自分の進路や将来設計を考えること
- オ 児童・生徒の上級学校進学への不安の緩和
- カ その他(4 アンケート記述欄の概要 50ページ以降掲載)

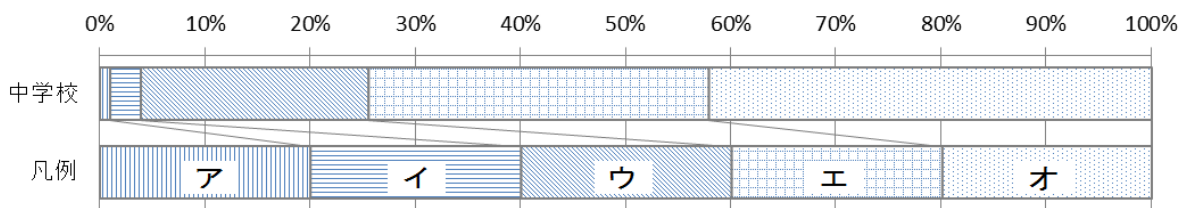
Q11 「小中一貫教育」で「9年間を通したキャリア教育や進路指導」を実施する場合の、不安や課題は何ですか？（複数回答可）



- ア 9年間を通したキャリア教育などの指導計画をつくること難しいのではないか
- イ 協力してくれる地域の方や企業などを探すこと難しいのではないか
- ウ 実施する授業時数の確保が難しいのではないか
- エ 教員の異動などにより、指導計画の趣旨が形骸化するのではないか
- オ 不安や課題はあまりない
- カ その他(4 アンケート記述欄の概要 50ページ以降掲載)

※中学校教員のみ、お答えください※

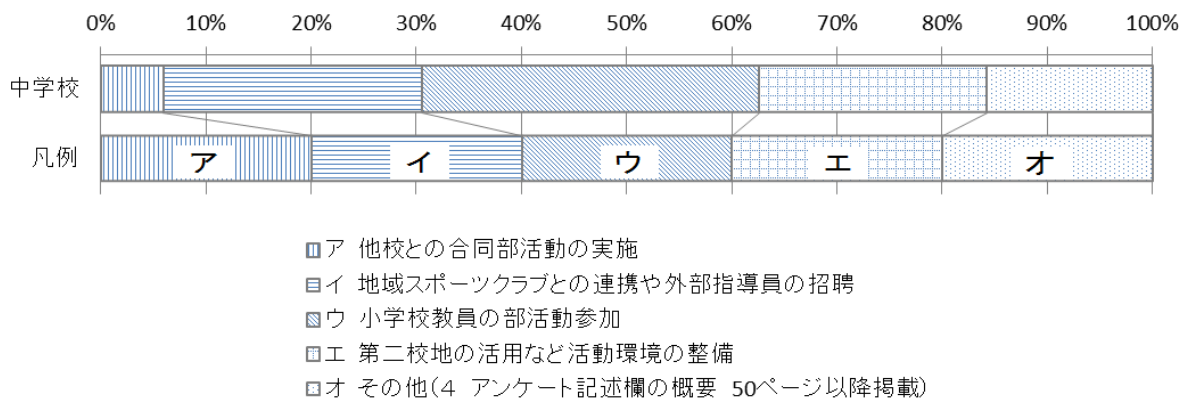
Q12 「小中一貫教育」を実施し、「小学生の部活動参加」を行うとしたら、何年生から参加することが適切だと考えますか。（1つのみお答えください）



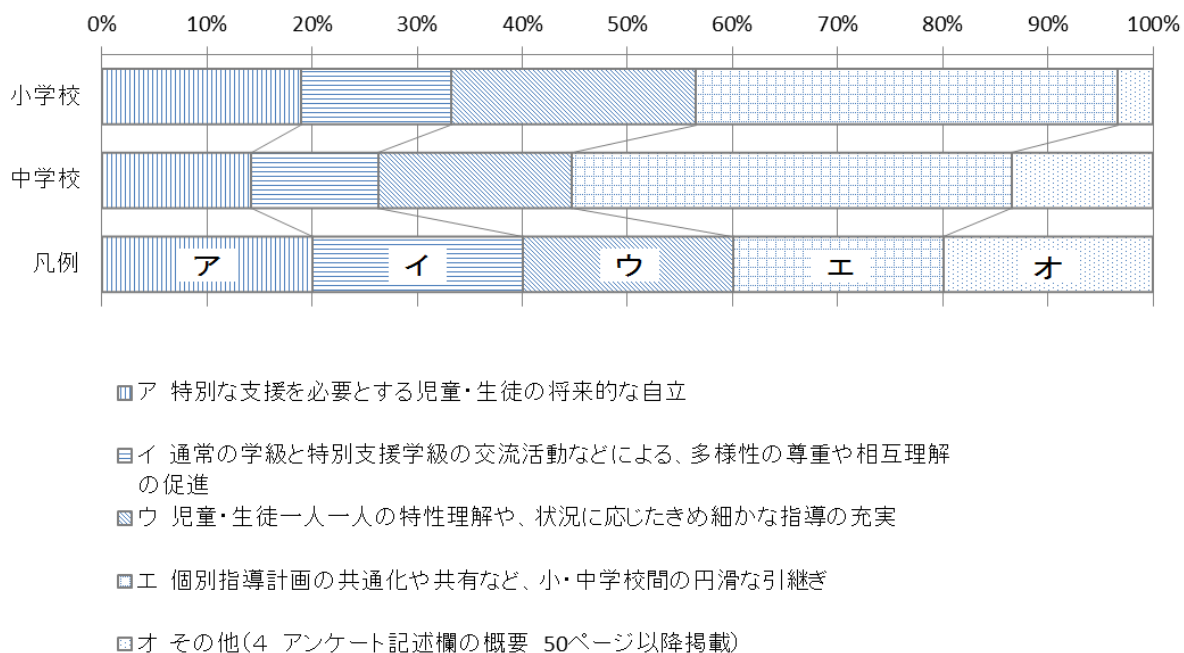
- ア 小3
- イ 小4
- ウ 小5
- エ 小6
- オ その他(4 アンケート記述欄の概要 50ページ以降掲載)

※中学校教員のみ、お答えください※

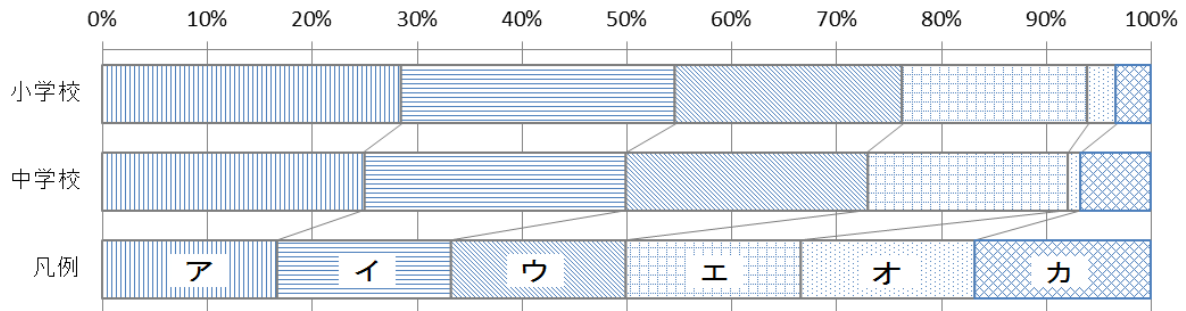
Q13 「小中一貫教育」で「小学生の部活動参加」や、部活動の継続的な実施に向け、必要なことは何ですか？（複数回答可）



Q14 「小中一貫教育」を実施し、「9年間を通した特別支援教育」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

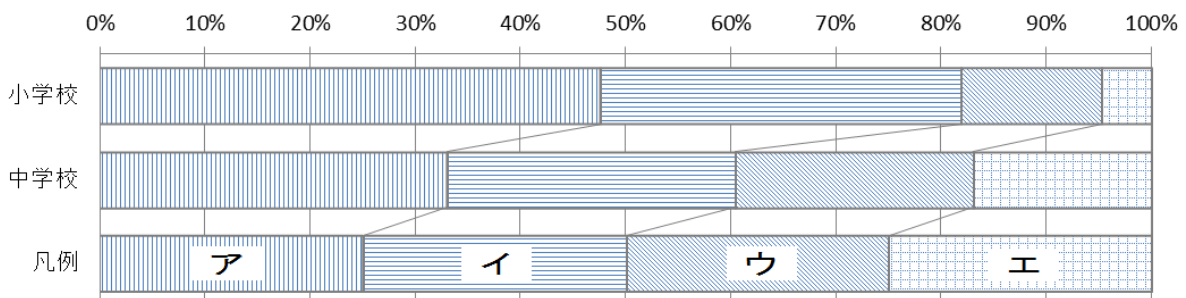


Q15「小中一貫教育」で「9年間を通じた特別支援教育」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）



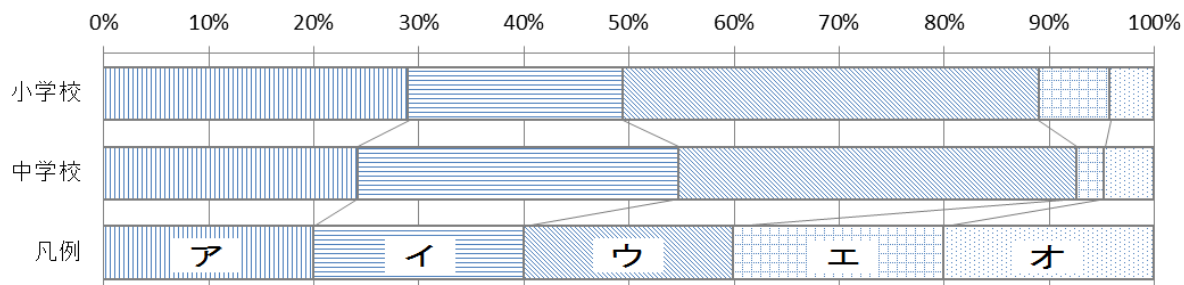
- ア 打ち合わせの回数や作成する資料が増えるのではないかな
- イ 特別支援コーディネーターに求められる役割が増えるのではないかな
- ウ 交流活動を行うための授業時数の確保が難しいのではないかな
- エ 交流活動が増えることにより、児童・生徒の負担が増えるのではないかな
- オ 不安や課題はあまりない
- カ その他(4 アンケート記述欄の概要 50ページ以降掲載)

Q16「小中一貫教育」を実施し、「スクールソーシャルワーカー」や、教員以外で学校と地域との連携を推進する「地域担当職員」などの支援スタッフを各校に配置することは、教育相談体制や地域との連携を充実する効果があると思いますか？（1つのみお答えください）



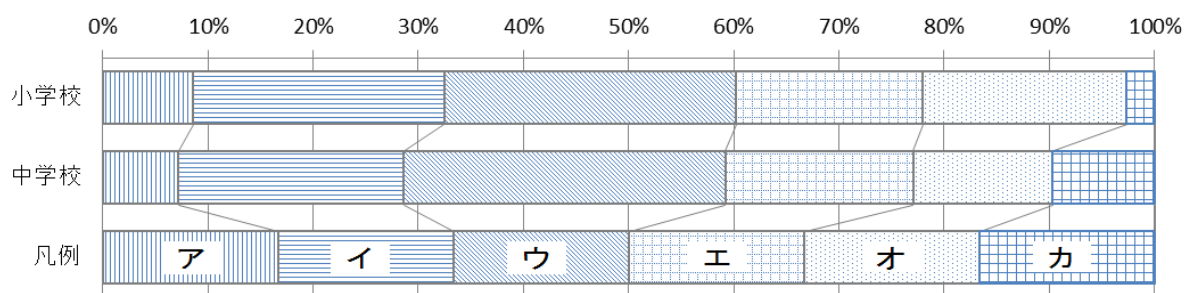
- ア 効果があると思う
- イ 少し効果があると思う
- ウ あまり効果がないと思う
- エ その他(4 アンケート記述欄の概要 50ページ以降掲載)

Q17 Q16の取組を行う場合の不安や課題は何ですか？(複数回答可)



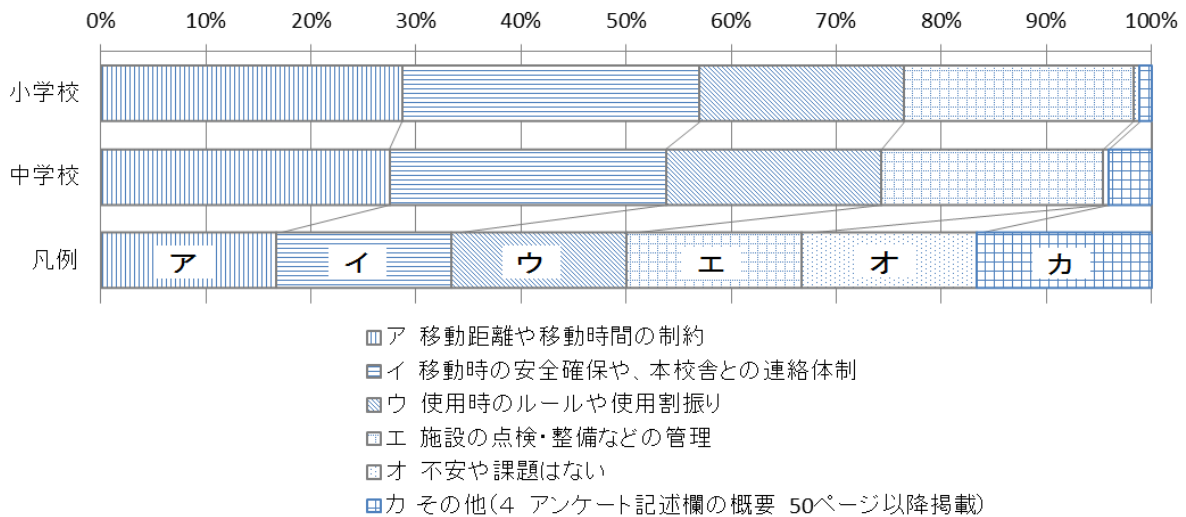
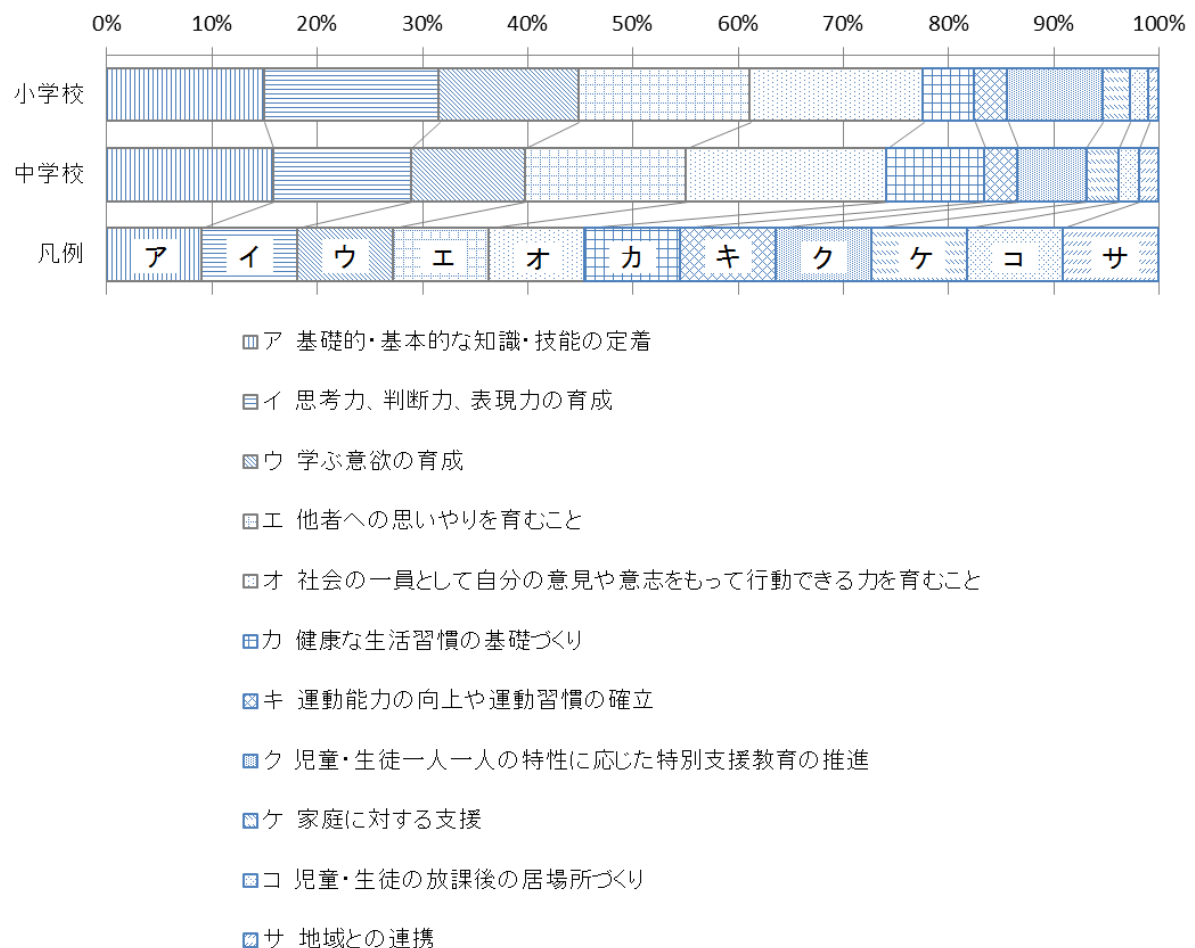
- ア 学校に来る支援スタッフが多いと、それぞれの役割が分からなくなるのではないかと
- イ 人の出入りが多くなり、個人情報の取扱いや安全管理が難しくなるのではないかと
- ウ 支援スタッフが増えることで情報共有の手間がかかるのではないかと
- エ 不安や課題はあまりない
- オ その他(4 アンケート記述欄の概要 50ページ以降掲載)

Q18 現在、武蔵野市が小中一貫教育を実施する場合は、「小学校区ごと」に「施設一体型義務教育学校」を設置することを考えています。その場合、空き校地を義務教育学校の「第二校地」として活用することを考えています。「第二校地」ができた場合、どのように活用できると思いますか？(複数回答可)



- ア 普段の授業
- イ 体育的行事などの学校行事
- ウ 部活動
- エ 適応指導教室(チャレンジルーム)の複数設置
- オ 地域スポーツクラブや地域の方々と連携した取組
- カ その他(4 アンケート記述欄の概要 50ページ以降掲載)

Q19 「第二校地」を活用する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

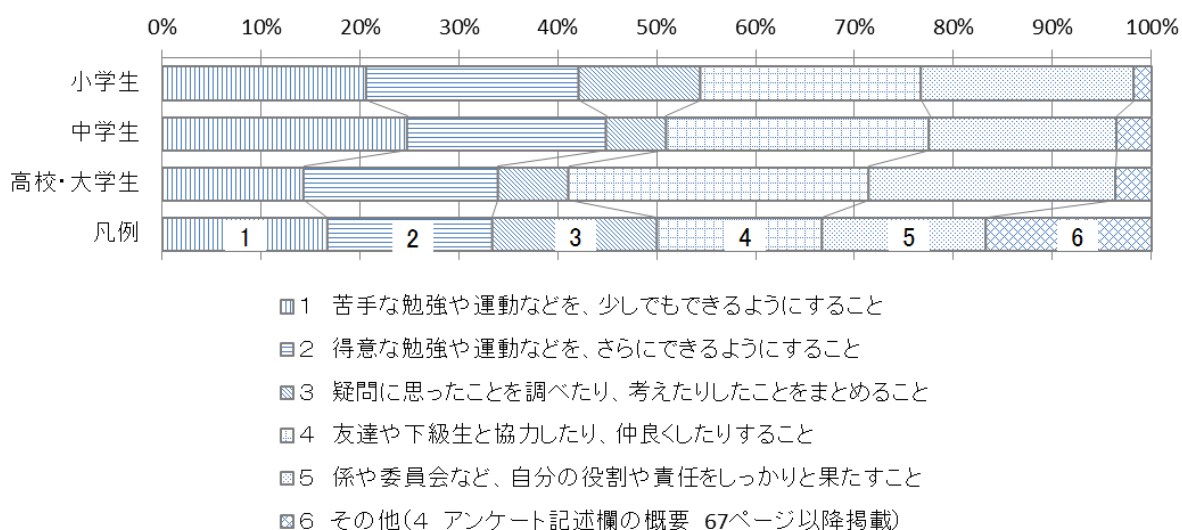
Q20 「小中一貫教育」の実施の有無に関わらず、
これからの学校教育で重要だと思うものを、以下の中から「3つ」選んでください。

3 アンケート結果

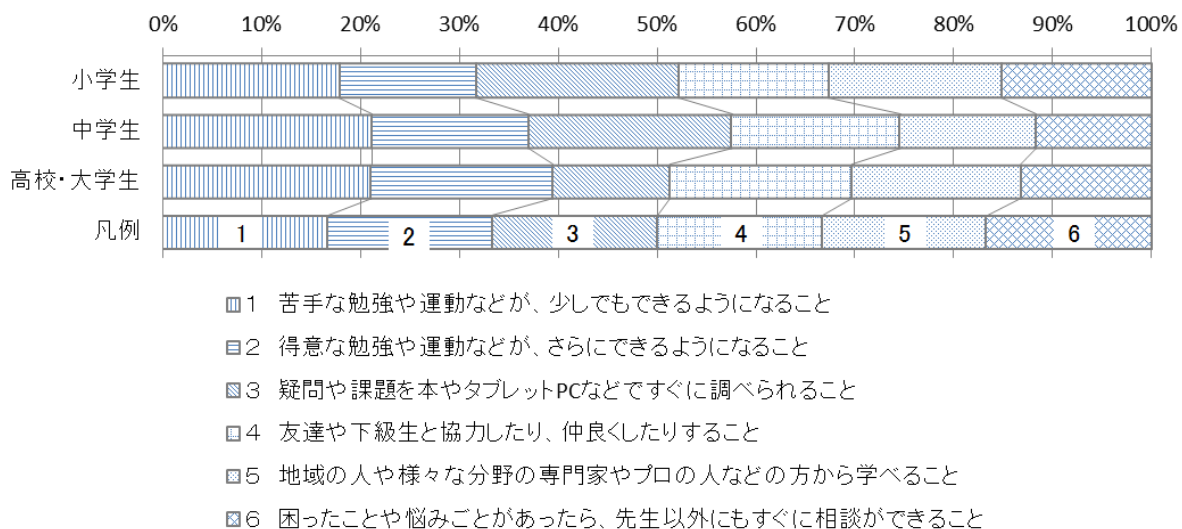
(3) 小学生・中学生・高校生・大学生

*同様の問いかけを、各層ごとに表現を変えて実施しました。設問数も異なりますので、ここでは小学生向けアンケートの設問を掲載します。小中学生の間3及び問5(69ページ以降掲載)は高校大学生では問2及び問3の「その他」選択肢となり、67ページ以降に掲載しています。各層ごとのアンケート用紙は148ページ以降に掲載しています。

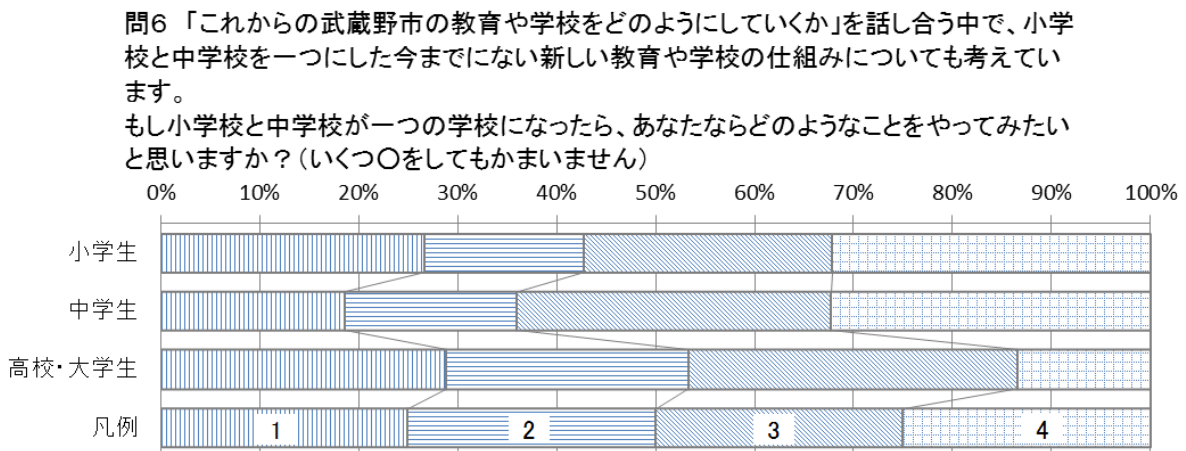
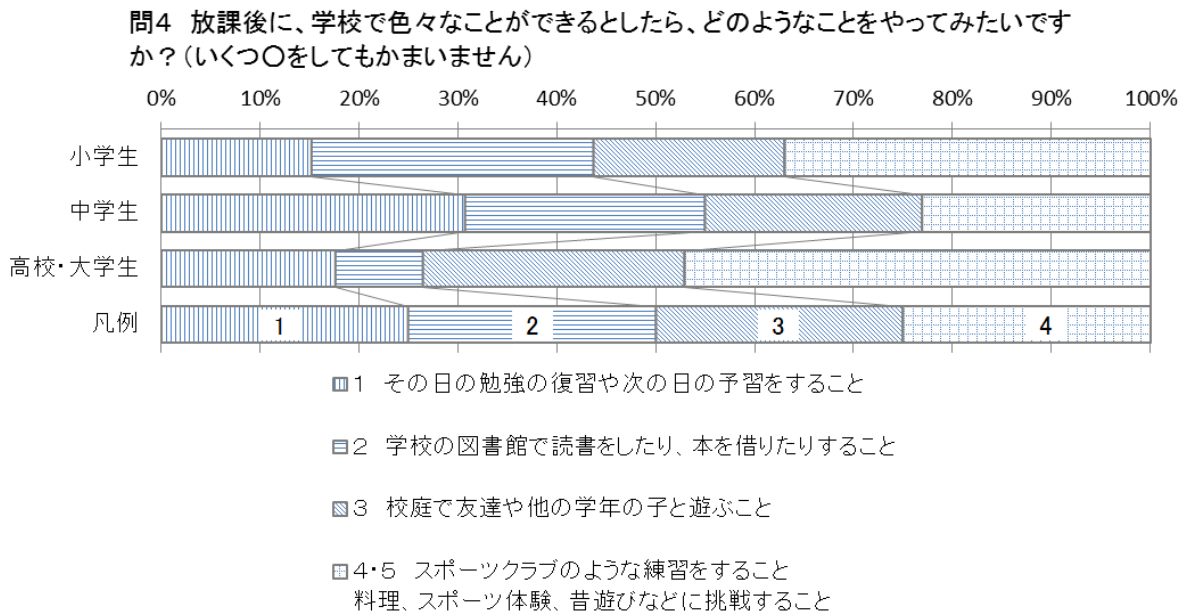
問1 あなたは、ふだんの学校生活の中で、どのようなことに挑戦したり、がんばったりしていますか。(いくつ〇をしてもかまいません)



問2 これからの武蔵野市の学校では、どのようなことができるとよいと思いますか。(いくつ〇をしてもかまいません)



*小学生向けの問4の選択肢4と5は、中学生以上では一つの選択肢4としています。ここでは、4または5、または両方を回答した人数を集計しています。それぞれの回答数は130ページの集計表をご覧ください。



[小学生の設問]

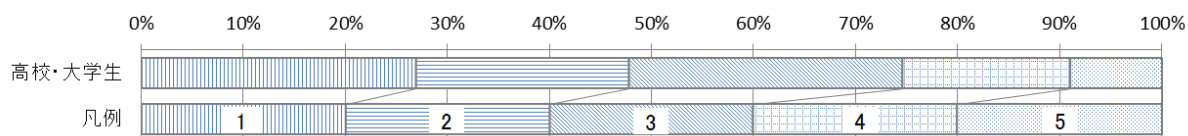
- 1 小学校の授業(算数、図工、体育、外国語活動など)を、中学校の専門の先生にも教えてもらいたい
- 2 中学生に、小学校の勉強を教えてもらいたい
- 3 中学生といっしょに、学校行事や交流学習、交流給食などをやってみたい
- 4 中学校の部活動に参加してみたい

* 中学生、高校・大学生の設問は、表現が異なるが趣旨は同じである(131ページ参照)。

3 アンケート結果 (3) 小学生・中学生・高校生・大学生

* 高校・大学生向けの問4は、小中学生向けにはない設問です。

問4 「これからの武蔵野市の教育や学校をどのようにしていくか」を検討した結果として小・中学校を一つにして施設一体型義務教育学校が設置された場合に、どのような課題が考えられますか？（複数回答可）



- 1 義務教育9年間の人間関係が広がらないのではないか
- 2 小学校6年生のリーダー性が育たないのではないか
- 3 小学校の卒業・中学校への進学という節目がなくなるのではないか
- 4 体の大きさなどが違う小学校1年生から中学校3年生までが一つの施設で生活することは危険ではないか
- 5 その他(4 アンケート記述欄の概要 67ページ以降掲載)